



### 食中毒と胃腸炎の違い



内科

林 和憲



食中毒と胃腸炎とは、腹痛や嘔吐、あるいは下痢といった共通点があるため、同じような病気と捉える人も少なくありません。しかしこの2つには、はっきりした違いがあります。

まず食中毒ですが、魚介類やその加工品、肉や卵などの動物性たんぱく質など食品を摂取して起こることが多いです。特に夏場に多く、原因となる食物を摂取してから5時間ないし72時間のうちに発病します。サルモネラ菌、腸炎ビブリオ菌、ボツリヌス菌などが原因となっていて、特にボツリヌス菌の場合は重症化することが多いので気を付けたいものです。このボツリヌス菌は嫌気性なので、空気に触れない食物、たとえばレトルト食品や瓶詰の食品などに発生します。レトルトや瓶詰で要冷蔵のものは必ず冷蔵庫に保管しましょう。



胃腸炎に関してですが、これは食中毒とは違い、冬場に感染する人が多くなっています。特にノロウイルスやロタウイルスはよく知られています。ノロウイルスは大人、ロタウイルスは子供が罹ることが多く、いずれの場合もウイルスに感染した食物から感染することで起こります。感染予防のため、手洗いやうがいをしっかりとるようにしましょう。ウイルス性の場合には感染力が強く、患者の吐物や便からも感染することもあります。

両方に共通する注意点としては、まず自己判断で薬を使わないようにしましょう。下痢を止めたい気持ちはわかりますが、悪い物が排出されなくなり、かえって悪化することもあります。まずぬるま湯や常温のスポーツドリンクなどで水分補給をし、それでも治らない場合は内科か消化器科を受診するようにしてください。



#### ○ 病院機能評価更新しました ○

平成29年2月に病院機能評価を更新受審し、5月に更新認定を受けました。

病院機能評価とは、病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行うツールで、病院組織全体の運営管理および提供される医療について評価します。

今回の更新認定に向けて、病院職員全員が協力し、力を発揮出来たと思います。今後も当院の理念でもある「地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。」を実践していきます。

(総務課)



#### 病院理念

地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。

#### 基本方針

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足いただける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。



当院は、敷地内(駐車場含む)禁煙です。ご理解、ご協力の程お願い致します。

## 70歳以上の方の高額療養費制度の上限額が変わりました！

全ての方が安心して医療を受けられる社会を維持するために、高齢者と若者の間での世代間公平が図られるよう、負担能力に応じたご負担をいただく必要があるために、平成29年8月診療分から、70歳以上の方の医療機関における高額療養費の自己負担限度額が、変更になりました。

高額療養費制度とは、69歳までの方は、手続きをしていただくことにより、自己負担限度額を超える金額を請求されませんが、70歳以上の方は住民税非課税世帯を除き、手続き無しで自動的に診療費が安くなる制度になっています。

ただし、医療費のうち、食事代や保険適応外負担分(個室料金・病衣代・オムツ代等)は、高額療養費制度の対象となりませんのでご注意ください。(医事課)

平成29年7月まで

平成29年8月から

適用区分		平成29年7月まで		平成29年8月から	
		外来 (個人ごと)	外来+入院(世帯ごと)	外来 (個人ごと)	外来+入院(世帯ごと)
現役並み	【課税所得】 145万円以上の方	44,400円	80,100円+ (医療費-267,000円)×1% [多数回 44,400円 <sup>(※2)</sup> ]	57,600円	80,100円+ (医療費-267,000円)×1% [多数回 44,400円 <sup>(※2)</sup> ]
	一般 【課税所得】 145万円未満の方 <sup>(※1)</sup>	12,000円	44,400円	14,000円 年間上限 14万4,000円	57,600円 [多数回 44,400円 <sup>(※2)</sup> ]
住民税非課税	②住民税非課税世帯	8,000円	24,600円	8,000円	24,600円
	①住民税非課税世帯 (年金収入80万円以下など)		15,000円	15,000円	

## 運動教室開催

例年、リハビリテーション科では運動教室を開催しています。今年度の第1回目は、7月13日に越谷市民中央会館で行いました。

当院以外での開催は初めての試みでしたが、11名の方のご参加をいただきました。そこで皆さんの身体能力の測定や筋力トレーニング・ストレッチを実際に行ったところ、好評をいただくことができました。次回は10月に同じ場所で行う予定です。今回ご参加いただいた方の意見を踏まえ、準備を進めています。

これからもリハビリテーション科では、皆様のご要望に応えられるよう、いろいろな企画を考えていきます。その際は、ぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

次回開催：平成29年10月12日(木) 予定  
お問い合わせはリハビリ室受付へ



部 署 Vo.8

紹 介 ～ 検査科 ～

検査科では血液・尿などを調べる検体検査部門と患者様自身を検査する生理検査部門(心電図、超音波など)の検査があります。それぞれの検査を臨床検査技師(国家資格)8名のスタッフで行っております。臨床検査は病気の早期発見や予防、診断、治療になくてはならない手段です。

当院では信頼されるデータを提供できるよう、正確で迅速な検査を目指し、24時間365日取り組んでいます。

また、標準化(検査方法や技術の統一)にも積極的に取り組むことで、他施設との互換性を保っています。何か検査の事で、ご相談などあれば、ご遠慮なく検査科にお声掛けください。



染谷 暢男



## 診療統計 平成29年4月～6月(月平均)

■ 外来延べ患者数	16,156名(5,385名)	■ 救急搬入数	544名(181名)
■ 入院延べ患者数	15,779名(5,260名)	■ 紹介患者数	711名(237名)
■ 一日平均外来患者数	218名	■ 手術件数	444件(148件)
		■ 内視鏡件数	357件(119件)